



平成 26 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名：株式会社ベネッセホールディングス
代表者名：代表取締役会長兼社長 原田 泳幸
(コード番号：9783 東証第一部)
問合せ先：代表取締役副社長 福原 賢一
(TEL：03-5320-3505)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成26年7月31日付の「平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で、未定としておりました業績予想につき、今般予想値を得ましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期通期業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	467,000	28,000	26,500	△9,000 ～△1,000	△93.56 ～△10.40
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	466,399	35,830	35,216	19,930	206.79

2. 修正の理由

売上高は、主力の国内通信教育講座の平成26年4月の会員数が365万人と対前年同月比20万人減少したことに加え、お客様情報の漏えい事故を受けて新規営業活動を停止したことに伴うマイナス影響があったものの、シニア・介護事業の伸長、及び中国の通信教育事業の業績拡大と円安による為替換算時のプラス影響等により、4,670億円と対前期比0.1%の増収を予想しております。

利益につきましては、中国の通信教育事業の増収による増益、及びグループ全体のコスト構造改革による費用削減があるものの、国内通信教育講座の減収による減益等により、営業利益は280億円と対前期比21.9%の減益、経常利益は265億円と対前期比24.8%の減益を予想しております。

なお、当期は、特別損失としてお客様情報の漏えいに伴う情報セキュリティ対策費や、構造改革費用等を見込んでおりますが、今後変動する可能性があるため、当期純損失を△90億円から△10億円のレンジで予想しております。

以上